

第2回生徒による授業評価の分析

1. 学年毎の傾向（評価3，4の割合） ※網掛けは80%未満のもの。

○1年生

	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7
国語	92%	90%	92%	87%	90%	89%	89%
地理歴史	81%	82%	85%	80%	80%	88%	90%
数学	83%	83%	92%	86%	79%	88%	88%
理科	69%	69%	83%	80%	67%	80%	82%
芸術	92%	86%	87%	96%	88%	88%	95%
体育	93%	80%	87%	95%	79%	89%	88%
保健	74%	64%	72%	73%	63%	72%	81%
外国語	78%	81%	82%	83%	76%	79%	86%
情報	74%	73%	91%	87%	74%	85%	86%
総合	89%	92%	91%	79%	90%	89%	84%

○2年生

	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7
国語	92%	88%	91%	87%	90%	92%	90%
地理歴史	92%	93%	91%	85%	93%	90%	93%
数学	91%	89%	93%	87%	88%	88%	89%
理科	73%	76%	79%	75%	73%	76%	80%
家庭	89%	95%	95%	91%	97%	91%	92%
体育	94%	85%	90%	94%	87%	92%	93%
保健	88%	96%	93%	80%	94%	90%	90%
外国語	87%	89%	90%	87%	86%	89%	90%
総合	92%	92%	96%	84%	93%	94%	91%

○3年生

	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7
国語	94%	95%	95%	91%	95%	93%	93%
地理歴史	82%	79%	85%	82%	77%	83%	87%
公民	96%	84%	85%	92%	86%	88%	97%
数学	97%	88%	97%	94%	91%	96%	96%
理科	86%	86%	95%	86%	88%	89%	91%
体育	97%	89%	94%	97%	88%	93%	95%
外国語	84%	79%	86%	88%	79%	86%	91%
総合	93%	96%	95%	86%	96%	94%	94%

※授業の在り方について（大項目）

- 項目 1 毎時間の授業や新しい内容に入ったときに学習のねらいを示したり、毎時間の授業や内容の終わりに学習したことを振り返ったりする機会がある。
- 項目 2 授業の中で、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会がある。
- 項目 3 授業の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考える場面がある。

※学習の状況について（大項目）

- 項目 4 授業の中で「身に付いた」「できるようになった」と感じる事ができた。
- 項目 5 他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、自分の考えを広げ深める事ができた。
- 項目 6 授業で得た知識をもとに、自分の考えをまとめたり、課題の解決方法を考えたりすることができた。
- 項目 7 授業で学んだことを、それまでに学んだことと関連付けて理解することができた。

評価 4「かなり当てはまる」、3「ほぼ当てはまる」、2「あまり当てはまらない」、1「ほとんど当てはまらない」

2. 「学年毎の傾向」の特徴

○全体的傾向

全体的に高い評価である。第1回授業評価（全教科）で80%未満の個数が1学年42個、2学年12個、3学年14個であったが、今回は1学年18個、2学年6個、3学年4個となっている。

90%以上の個数を見ても、第1回授業評価（全教科）で1学年6個、2学年20個、3学年8個であったが、今回は1学年15個、2学年37個、3学年30個となっており、数値が大きく上昇している。

○国語

全体的に高い評価であり、全学年で80%未満の項目がない。特に1学年は項目1、2、3、5で、2学年は項目1、3、5、6、7で、3学年は全項目で90%以上である。

全学年の全項目において80%以上の肯定的評価である。科目担当者間で日常的に授業プランを検討し、「振り返りシート」等を活用して生徒とコミュニケーションを図りながら授業内容のチェックを重ねたことが要因だと考えられる。他の項目と比べて相対的に数値が低かった項目4については、身に付けさせたい力を明確にししながら、習得した知識・技能を活用する授業展開をより工夫していくことで一層の改善を図る。

○地理歴史・公民

全体的に高い評価であり、地理歴史については、1、2学年は80%未満の項目がない。特に1学年は項目7が90%で、2学年は項目4以外が全て90%以上と高い数値である。3学年は項目2、5以外全項目で80%以上である。公民については、80%未満の項目がなく、特に項目1、4、7が90%以上で高い数値である。

3年生の地歴で80%を下回った項目が2つあるものの、それ以外は80%以上の評価となっている。また、2年生の6項目、3年生の公民で3項目、1年生地歴で1項目が90%以上と高評価となっている。授業におけるICTの活用やGoogleクラスルームでの課題の提示・回収などを更に推し進めていきたい。コロナの状況下で、限られた条件の中で、「問い」を軸としながら、生徒の主体的学びを進めていく授業の展開に取り組んでいく。

○数学

全体的に高い評価であり、1学年の項目5が79%である以外は80%未満の項目がない。特に1学年の項目3、2学年の項目1、3が90%以上、3学年は項目2の88%以外全ての項目が90%以上で高い数値である。

第1回授業評価で全学年とも70%台であった項目2、5が概ね80%以上まで数値が改善している。やはり対面授業による効果や制限がかけられている中でも周囲の友人と考え方を共有できる機会が増えたことが改善した理由として考えられる。また、講義型であっても同じ教室で授業を受けることで他者からの刺激があったとも考えられる。対して、項目4、6、7では各学年で第1回から減少傾向が見られた。内容の難化もあるが、コロナの影響で制限なく生徒の活動が行えなかったことや、学んだことを使う時間よりも知識を与えることに多くの時間を割かざるをえない状況になってしまったことが考えられる。今後も状況を見ながら授業展開を工夫し改善していく。

○理科

3学年は全ての項目で85%以上である。特に項目3、7が90%以上で高い数値である。1学年は第1回授業評価で項目3が75%であったが、今回は83%と上昇した。2学年は第1回授業評価で項目2、5が67%であったが、今回は76%、73%と上昇した。

第1回授業評価と比較して、全体的に上昇していた。項目1～3については、各科目とも実行しているが他の教科と比べると少ないため、少々低い数値となったのではないかという意見があった。しかしながら、科目の特性上難易度が高い内容が多い中で、評価3,4と回答している生徒が70%近くいけば十分に高評価であるという意見もあった。今後とも、教科の特性と生徒の実態を鑑みて、改善を図る。

○保健体育

体育は全体的に高い評価であり、1学年の項目5が79%である以外は80%未満の項目がない。特に1学年の項目1、4が90%以上、2・3学年の項目2、5以外全ての項目が90%以上で高い数値である。

保健は2学年が全ての項目で80%以上である。特に項目2、3、5、6、7が90%以上で高い数値である。1学年は第1回授業評価と比較して項目1、2、3、5の数値が上昇している。

体育は、項目2、5の項目が多少低い傾向にあるため、教え合いやグループ内での話し合いを通じて、授業内でできる限り他者とのかかわりを増やすことを心掛けて、より良くしていきたい。

保健については、全体的に1学期よりも改善している傾向にある。コロナ禍により、グループワークの減少が大きく影響していると考えられる。特に1年生は毎年行っている3分間スピーチが授業数の減少で行えなかったことが、全体的に評価が低かったものと考えられる。

○外国語

全体的に高い評価であり、2学年は全ての項目で85%以上である。特に項目3、7が90%以上で高い数値である。3学年は項目2、5が79%以外全ての項目が80%以上、項目7が91%で高い数値である。1学年は第1回授業評価と比較して項目6以外全ての項目で数値が上昇している。

第1回授業評価と比較して、項目2と項目5で数値が80%以上となり、数値が改善している。しかし、項目5「他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、自分の考えを広げ深めることができた。」の数値が一番低くなっており、コロナ禍でペアワークやグループワークが制限されている点や授業時間の短縮が影響していると考えられる。今後改善していきたい。

○芸術

全体的に高い評価であり、全ての項目で85%以上である。特に項目1、4、7が90%以上で高い数値である。

全項目が85%以上で肯定的な評価である。1学期はコロナ禍で個々に対する指導が行き届かなかったが、2学期以降、実技科目として、技術を教えるのみではなく、一人ひとりの個性に対応した支援を続けてきたことが要因だと思われる。

○情報

項目3が90%以上で高い数値である。第1回授業評価と比較して項目2、3、5、6、7の項目で数値が上昇している。

アンケートの結果より情報量がすでに多い生徒にとってインターネット等で容易に得ることができる知識や技能よりも授業を通して理解できた内容が多かったことについて評価されていると考えた。

○家庭科

全体的に高い評価であり、項目1が89%で、それ以外全ての項目が90%以上で高い数値である。

全項目で89%以上の肯定的評価を頂いた。第1回授業評価と比較してみると、項目4“身についた、できるようになった”の数値が大幅に上昇した。これは、コロナ感染予防のために制限をかけながら行った被服実習（あんぎん制作）の達成感、生徒の経験を書いた提出物を長いコメント付きで返却、授業に短時間で行う少人数のグループワークと発表などから得たものがあつたのではないかと考えている。また、項目1は89%であったが、“学習のねらい”の示しかたは、もう少し丁寧に行ったほうがわかりやすかったと改善の必要性を感じている。コロナ蔓延の状況では、これからも授業構成の変更の可能性はあるが、生徒が主体的に学び、その学びを深めることができ、また達成感を得られるよう授業研究に努め、工夫と改善をしていきたい。

○総合

全体的に高い評価であり、1学年の項目4が79%である以外は80%未満の項目がない。特に1学年の項目2、3、5が90%以上、2・3学年の項目4以外全ての項目が90%以上で高い数値である。

全体的に高い評価であるが、その中で項目4（授業の中で「身に付いた」「できるようになった」と感じる事ができた）が比較的数値が低い。コロナの状況下で、ポスターセッションやICTを活用したプレゼンテーション等の発表活動ができなかったことも影響しているかもしれない。今後授業形態を工夫しながら主体的な探究活動をとおして知識の概念化を図る。

3. 教科毎の傾向（評価3，4の割合）

	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7
国語	93%	91%	92%	88%	91%	91%	91%
地理歴史	84%	85%	87%	82%	84%	88%	91%
公民	96%	84%	85%	92%	86%	88%	97%
数学	87%	86%	93%	87%	83%	88%	88%
理科	73%	75%	82%	78%	73%	79%	82%
芸術	92%	86%	87%	96%	88%	88%	95%
家庭	89%	95%	95%	91%	97%	91%	92%
体育	94%	84%	90%	95%	84%	91%	91%
保健	81%	80%	83%	76%	79%	81%	85%
外国語	82%	84%	86%	85%	81%	84%	88%
情報	74%	73%	91%	87%	74%	85%	86%
総合	91%	93%	94%	83%	93%	92%	89%

4. 「教科毎の傾向」の分析（項目毎に分析）

○項目1について（学習のねらい提示、振り返りの機会がある）

第1回授業評価では80%以上7教科、80%未満5教科であったが、今回は、90%以上5教科、80%以上5教科、80%未満2教科である。

○項目2について（他者の考えを知り、自分の考えを深める機会がある）

第1回授業評価では90%以上1教科、80%以上4教科、80%未満7教科であったが、今回は、90%以上3教科、80%以上7教科、80%未満2教科である。

○項目3について（自分の考えを深め、考える場面がある）

第1回授業評価では90%以上3教科、80%以上5教科、80%未満4教科であったが、今回は、全ての教科で80%以上、その中で、90%以上6教科である。

○項目4について（身に付いた、できるようになった）

第1回授業評価では90%以上3教科、80%以上6教科、80%未満3教科であったが、今回は、90%以上4教科、80%以上6教科、80%未満2教科である。

○項目5について（他者の考えを知り、自分の考えを深めることができた）

第1回授業評価では90%以上1教科、80%以上3教科、80%未満8教科であったが、今回は、90%以上3教科、80%以上6教科、80%未満3教科である。

○項目6について（自分の考えを深め、考えることができた）

第1回授業評価では90%以上1教科、80%以上8教科、80%未満3教科であったが、今回は、90%以上4教科、80%以上7教科、80%未満1教科である。

●授業力向上推進重点校として本校が指標としている項目である。

○項目7について（学んだことと関連付けて理解することができた）

第1回授業評価では90%以上2教科、80%以上10教科、80%未満0教科であったが、今回は、90%以上6教科、80%以上6教科、80%未満0教科である。

●授業力向上推進重点校として本校が指標としている項目である。

（参考）第1回生徒による授業評価の分析 教科毎の傾向（評価3，4の割合）

	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7
国語	89%	81%	88%	88%	82%	87%	88%
地理歴史	79%	78%	84%	76%	77%	82%	85%
公民	88%	80%	84%	89%	82%	88%	92%
数学	86%	76%	91%	91%	75%	89%	90%
理科	74%	65%	77%	80%	66%	79%	85%
芸術	80%	66%	76%	85%	65%	74%	82%
家庭	85%	95%	94%	81%	94%	92%	89%
体育	81%	72%	81%	91%	72%	81%	85%
保健	75%	64%	74%	77%	69%	80%	84%
外国語	79%	80%	84%	85%	78%	84%	88%
情報	75%	62%	74%	90%	61%	76%	85%
総合	84%	85%	92%	71%	85%	86%	81%

（参考）第1回生徒による授業評価の分析

学年毎の傾向（評価3，4の割合） ※網掛けは80%未満のもの。

○1年生

	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7
国語	85%	64%	80%	93%	67%	86%	88%
地理歴史	74%	71%	82%	74%	71%	79%	83%
数学	84%	77%	91%	95%	77%	93%	92%
理科	69%	56%	75%	85%	62%	80%	87%
芸術	80%	66%	76%	85%	65%	74%	82%
体育	69%	60%	67%	89%	59%	71%	81%
保健	69%	50%	66%	75%	58%	77%	81%
外国語	77%	75%	78%	82%	73%	80%	85%
情報	75%	62%	74%	90%	61%	76%	85%
総合	77%	79%	89%	61%	79%	80%	76%

○2年生

	項目 1	項目 2	項目 3	項目 4	項目 5	項目 6	項目 7
国語	91%	86%	92%	88%	89%	88%	91%
地理歴史	89%	93%	89%	83%	88%	90%	92%
数学	88%	73%	91%	86%	72%	85%	88%
理科	75%	67%	79%	78%	67%	79%	84%
家庭	85%	95%	94%	81%	94%	92%	89%
体育	83%	77%	87%	93%	78%	85%	88%
保健	83%	84%	85%	79%	85%	84%	88%
外国語	84%	89%	89%	90%	85%	90%	92%
総合	90%	95%	97%	78%	95%	92%	82%

○3年生

	項目 1	項目 2	項目 3	項目 4	項目 5	項目 6	項目 7
国語	89%	85%	89%	85%	84%	86%	85%
地理歴史	83%	83%	81%	70%	79%	75%	81%
公民	88%	80%	84%	89%	82%	88%	92%
数学	90%	79%	93%	92%	78%	89%	93%
理科	80%	75%	75%	79%	72%	81%	86%
体育	90%	81%	89%	91%	79%	87%	88%
外国語	78%	77%	84%	83%	78%	82%	87%
総合	86%	82%	90%	77%	83%	86%	86%